令和５年度

推薦Ⅰ　入学試験問題
学校教育コース　教育学専攻
（小論文）

注意事項

１．「解答をはじめ」の合図があるまで，冊子を開かないこと。
２．問題は全部で２問である。両方とも解答すること。
３．受験番号は，解答用紙上の指定された箇所に必ず記入すること。すべての解答用紙に記入すること。
４．試験終了後，問題用紙・解答用紙ともに回収するので，持ち帰らないこと。

問題１（配点 60）

次の文章は，教育哲学者の苫野一徳氏の著書からの引用です。この文章を読んで，後の設問に答えなさい。

著作権の関係上，公開しません。

（出典：苫野一徳『教育の力』講談社現代新書，2014 年，189～191 頁を改変）

設問 1．この文章は近年の教育研究（特に教師教育の研究）において掲げられている「技術的熟達者」モデルから「省察的実践家」モデルへの転換について述べています。この文章において，苫野が「省察的実践家」としての教師となるために「学び続ける」姿勢を求めていることについてどのように考えますか。あなたがこれまでに出会った教師たちとの経験を踏まえて論述してください。

設問 2．あなたは自分自身が「省察的実践家」としての教師になるために，これからどのような取り組みを行っていきたいと考えますか。苫野の文章を参考にしながら，具体的に述べてください。

解答用紙（問題１）

受験番号	番

問題１の設問１　解答欄

解答用紙（問題１）

受験番号	番

問題１の設問２　解答欄

問題２（配点 40）

以下の資料は「令和３年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果（三重県）について」からいじめに関する部分を抜粋したものである。資料を読んで設問１、２に答えよ。なお字数は特に指定しない。(40 点)

＜資料＞

①いじめの認知件数

表１　いじめの認知件数（校種別）　（単位：件）

著作権の関係上，公開しません。

令和３年度三重県（公立学校）のいじめの認知件数は 4,268 件で、令和２年度と比較すると全体で 504 件増加（前年度比 13.4％増）しています。校種別の認知件数では、増加の割合に差はあるものの、平成２９年度と比較してすべての校種で増加しています。特に、小学校と高等学校での認知件数が増加しており、５年間で２倍以上となっています。

②いじめの態様

表２　いじめの態様（複数回答）

著作権の関係上，公開しません。

(https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001043441.pdf)

設問1　小学校において、いじめの認知件数の増加が顕著である理由について、あなたの考えを述べなさい。(15点)

設問2　表１、表２の結果をふまえて、いじめを減少させるために、小学校段階において学級全体で行う取り組み（授業や行事など）を１つ企画し、どのような取り組みか説明しなさい。(25点)

解答用紙（問題２）

受験番号	番

問題２の設問１　解答欄

解答用紙（問題２）

受験番号	番

問題２の設問２　解答欄